

令和3年6月25日

## 競技開催期間中におけるオリンピック関連イベント の見直しについて

本市では、復興五輪として開催される東京2020大会の福島あづま球場での競技開催に合わせ、福島駅周辺でオリンピック関連イベントの実施を予定しておりました。

先日、組織委員会などから発表された方針の中で、人の流れを抑えるため、関連イベントなどの中止や規模縮小の検討、観客の直行直帰など示されたところであります。

これらを踏まえ、新型コロナウイルス感染症対策を総合的に勘案するとともに、現状での関連イベント実施による復興五輪の発信が難しいことなどから、下記の通り見直しすることといたしました。

### 記

- 1 コミュニティライブサイト、パブリックビューイング・・・**中止** ※別紙資料内①②  
競技応援やステージイベント、競技体験、飲食ブースなどを実施。  
場所：街なか広場、街なか交流館、福島駅西口駅前広場
- 2 おもてなしイベント・・・**中止** ※別紙資料内③
  - (1) 福島駅東口駅前広場  
県や浜通り市町村などと連携し、風評払拭や復興に取り組む姿を発信するとともに、復興支援への感謝と「ふくしま」の魅力を発信。
  - (2) 駅前通り、ツイン広場  
官民連携により、農産物のPR・風評払拭に取り組むほか、福島市の魅力発信として、軽トラ市、飲食ブースを実施。
- 3 ホストタウンフェスティバル・・・**中止** ※別紙資料内④
  - (1) スイス：7月24日
  - (2) ベトナム：7月25日
- 4 開催周知看板・・・**実施** ※別紙資料内⑤  
野球・ソフトボール競技の本市開催を周知する看板を設置。  
設置場所：福島駅東口・西口駅前広場
- 5 東京2020大会『福島市おもてなしフェンス』事業・・・**実施** ※別紙資料内⑥  
福島駅西口周辺に大会組織委員会が設置するフェンスを活用し、福島ゆかりのアーティストと市民が一緒になって制作したアートデザインで彩る。  
東日本大震災の復興支援への感謝や歓迎の気持ち、「ふくしま」の魅力を発信。

### ※福島駅西口『エールビジョン』

復興支援への感謝メッセージやふくしまの魅力を発信する動画、競技放映などを検討中。

担当：東京オリンピック・パラリンピック競技大会福島市推進室  
室次長 丹治典夫、副主幹 丹治聡一郎  
電話 024-563-5660（直通）